

ニュース

賑わいのある政令市の顔へ

桜町再開発計画を発表

熊本市中央区桜町の九州産業交通ホールディングス(矢田素史社長)は10月31日、総事業費約500億円にのぼる桜町再開発計画の概要を発表した。バスターミナルを中心にホテルやマンション、商業施設、コンベンション施設などを整備する。2015年春から既存建物の解体に着手し、18年春の完成を目指す。

九州産交HD

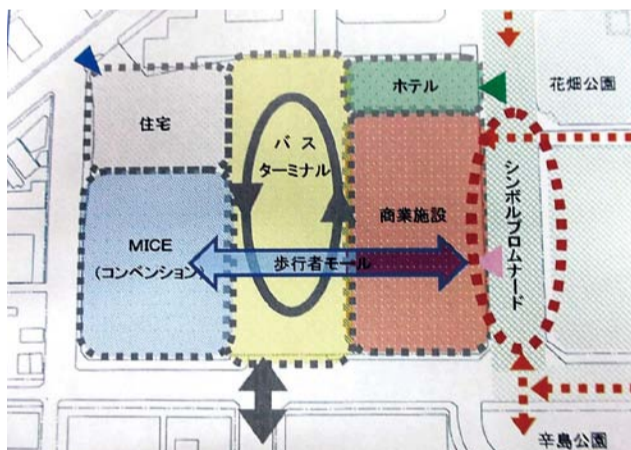


▲コンベンション施設やホテル、商業施設などを中心とした再開発計画が固まった熊本交通センター一帯

総事業費500億円 18年春の完成を目指す



▲桜町再開発計画の完成イメージ



▲バスターミナル・商業施設・ホテル・マンションなどの再開発ゾーン

計画によると開発面積は約2万8千㎡。バスターミナルは1階の平面式でコンバクトに再整備。現在3カ所あるバスの出入り口は、熊本市が整備する歩行者空間「シンボルプロムナード」に面した花畑公園側をなくし、南北の2カ所とする。 施設全体の総延べ床面積は、現状の10万2千㎡から13万㎡〜14万㎡に拡大。商業施設は約5万㎡で、花畑公園一帯の「シンボルプロムナード」側に配置する。熊本市が西側に整備するコンベンション施設は、発表当初は3千人収容可能な多目的ホールとしていたが、隣接する花畑町の再開発計画断念に伴い、2千人規模の観覧席(固定席)を備えたメインホール機能を追加することが分かった。ホテルは客室数が約200室でN.T.T.西日本

熊本支店側に建設する。マンションは熊本城の眺望を生かした都市型マンションで戸数は約100戸。西北側に建設する。 入居するホテルや商業施設は現在営業中の県民百貨店やセンタープラザ内のテナント(約70店)の意向を聴きながら選考する。 桜町再開発計画の概要を発表した矢田社長は「ようやく再開発計画の概要がまとまった。政令都市・移動することが決定している。 桜町周辺では花畑地区の2カ所で再開発構想があったが、このうち花畑公園北側にはNHK熊本放送会館(同市中央区千葉町)が単独で



▲熊本市が整備する歩行者空間「シンボルプロムナード」となる桜町・花畑町一帯

熊本を知ろう!

新聞・テレビでは知れない情報満載



熊本唯一の月刊経済誌 くまもと経済

定期購読受付中

年間(12回)購読料 19,000円 1冊 1,840円 県内書店・コンビニで販売